



富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

12月1日の朝刊にことぶき大学の記事が掲載されていました。

「**学びの成果、高齢者披露** ことぶき大が発表講習会 富良野

高齢者大学は全国各地の市町村に存在しますが学年別研究の成果を発表する大学があるだろうかと思っています。

第2研究生の皆さんは4年振りの今回の発表会では「**富良野への移住者その後**」というテーマで6～7年たった現在の移住者の方を再び訪問取材をして発表しました。

学びの成果、高齢者披露 ことぶき大が発表交流会 富良野



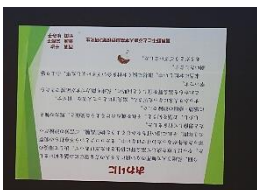
ことぶき大学の主張・研究・実践発表交流会で演劇を披露する学生たち

【富良野】60歳以上の市民が通う市ことぶき大学（学長・近内栄一教育長）の主張・研究・実践発表交流会が、富良野文化会館サンエーホールで4年ぶりに開かれ、日ごろの活動や研究の成果を披露した。

11月29日に実施された発表交流会には富良野校、山部校の計約60人が参加。新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から3年連続で中止になっていた。

学生たちは、「富良野への移住者 その後」や「知らなかった富良野の空襲」「北海へそ祭り」など、身近なことから郷土の歴史まで幅広いテーマで研究成果を発表したほか、合唱や踊り、スコップ三味線の演奏なども披露した。

市内の今靖直さん（82）ら9人は10月の「ふらの演劇祭」でも上演した「ドリーム『ゆめ』」を熱演し、会場の笑いを誘った。主役を演じた今さんは「アドリブも入れつつ楽しめた」と笑顔だった。（相武大輝）



小麦粉アレルギーになったパン職人の苦労を記事にし、コロナ禍で大変な思いをしながらも大好きな富良野の地で、これからも頑張っていきたいとの移住者の思いを伝えた発表は心に響くものでした。



「なかなかお仕事もあり皆さん忙しくて……」初めての学年別研究でのテーマが決まらず、何のための発表会なのか、何の意味があるのだろうか…と自問自答しながら「**知らなかった富良野の空襲**」をテーマに発表した本科1年生……

複雑な気持ちがあるものの、終わってみて学生時代に戻ったような、もしかしてそれ以上

何かをつかめたような…空襲を体験された三名の方のインタビューの重み

とともに充実感というものをちょっと感じたようです。これからの方向性が少し見えてきたのではないのでしょうか。

「北海へそ祭り」をテーマに取り組んだ本科2年生、「北海へそ祭りを取り上げると

いうことはこの富良野のまち全体を見つ

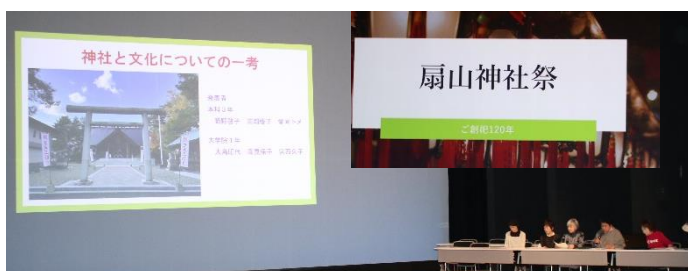
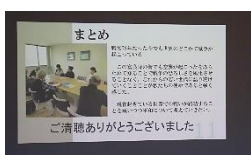
めるということ、お祭りを通して将来の富良野を考えることでもありました。そのお祭りを支えている商工観光課の職員の皆さん方の姿が見えてきました。特にこのコロナ禍、想像もつかないような苦難もあり日夜奮闘している姿で

す。これからもお祭りを通して私たち富良野人として貢献できることはないだろうかと考えている本科2年生…

「神社と文化についての一考」では一人一人が自分の住んでいる（いた）神社について調査し考察していたことは大変素晴らしかったです。神社はもともと宗教というより開拓

時代からの地域の集会所でもあった。そこで今年も豊作であることを願い、収穫祭では自然や動物への感謝と人々の勤労を労うというものでもあったと思います。私たちの住んでいる神社を知るということは生活

と文化について触れることです。そして神社の「鳥居」は何を意味するのか、大きさ、形や色が異なること、「鳥居」は神と人間世界との境として存在するもの…参道が産道、お宮が子宮…神社には奥宮があってその神社の発祥に繋がるとしても神聖な場所だそうです。その奥宮と奥さん、そして奥さんを上さん（神さん）^{かみ}というように女性の存在や尊厳についての意味合いが実に大きいものではないかと…神社の歴史の奥の深さを感じました。古事記や日本書紀を紐解くことになるのかも知れませんが、本科3年と大学院1年の皆さんは体調不良で退学された麓郷の千葉さんが残してくれた膨大な資料から貴重な





エッセンスと新しい話題を取り上げ、工夫しました。この学年では宮西久子さんを中心に、発表会当日の朝も熱心に打ち合わせをしていました。

ありがとうございます。



「研ブリッジⅢ」は研ブリッジ第3弾！の発表でした。これで市内のほとんどの橋についての取材と発表を終えたのでしょうか。4メートルの模造紙に可愛いキツネやタヌキ、熊

に注意の立て札もありました。メロンやスイカのイラストもとても上手！学年が一体となりすべてが手作業手作りの資料が完成しました。今までの制作した研ブリッジⅠⅡⅢ、保育所や幼稚園や小学生向けの楽しい“紙芝居”になりますね。富良野の魅力を伝える資料が完成しました。

デジタルも良いけどアナログの良さは逆にこれからの時代には必要なものです。やさしく、やわらかく、温かい…そんな発表でした。

山部校の発表、「エスコンフィールド北海道」についての発表でした。私などは未来空間のような場所、私の住んでいる麓郷とは真逆な空間だと思います。



でも、だからこそ、それぞれの良さや価値があるということでしょう。

エスコンができたことでまた自分も今の生活と比較しつつ、選択しつつ、何が大切なのか考えることができるのです。3つのテーマでそれぞれ全員が分担しながら、一人一人が発表したことはとても良かったです。詳しく

解説してくれました。今度は野球観戦を目的として行きたいです。

「きつねダンス」を最後まで観たのは初めてでした。

澤田校長、南さんが両側から山部校の皆さんを支えているようでした。乗りが良くこちらも楽しくなりました。



演劇が終り、短い時間で昼食を済ませリハーサル室へ、「コーラス」の皆さん方は大変忙しかったと思います。



白と黒で統一した衣装、赤尾先生の用意していただいたエンジ色の蝶ネクタイもバッチリ決まっていました。なかなか様になっていました。

手話はことぶき大学の定番になりました。

そして、踊り「道南ナット節」、明治のころ、千島や樺太の缶詰工場で働く女工さんたちの中で唄われていたものが民謡に変わっていったようです。

黙々と働く女工さんたちが元気づけようとしてみんなで唄った歌だったようです。時代やその当時の生活が滲んでいます。それが民謡に変わったということです。

NHK アーカイブスの番組「戦争証言アーカイブス」の中で樺太・缶詰工場で強制労働を強いられ、ひもじさと過酷な労働の体験を語っていた女性の証言がネットにありましたがナット節のルーツに少し触れる機会もありました。

皆さんの着物姿は新鮮でとてもきれいでした。

そして、次の研究テーマ「富良野の魅力とは何か」第2研究生の発表です。

これからの時代、観光では他市町村との共同作業が必要になってくるとの提言、富良野市だけの観光資源では限界があります。



研究テーマの設定動機

気象現象の温暖化
異常気象現象
線状降水帯の発生
大水害
砂漠化現象

近隣の市町村が1つのグループを形成して、互いにそれぞれの観光が成り立つように組み立て今後の観光を考える事が必要だと…更に観光振興を図る「観光地域づくり法人(DMO)」の設定を図ってほしい。このDMOが中心となり、富良野地区の観光を基幹産業に育成していくことの提言がなされました。

そして、富良野校研究生は「郷土の生い立ちについて」「縄文文化と富良野の遺跡」に続き、4年振りの今年度は「降雨災害」がテーマでした。学生の皆さんにアンケート調査を実施、生涯学習センターでの資料の収集など綿密な計画と調査を基にした発表でした。以前に名寄市で開催された上川管内学びの集いでも発表されました。富良野の遺跡では私も麓郷の遺跡について調べに行ったこともありました。災害対策についての方向性も示してくれました。BGM…良いアイデアでした。





最後の「スコップ三味線」、山部校との合同で、交流会の最後を飾るにふさわしい明るく元気で楽しい演奏でした。

恒例のアンコールもいただきました。新曲の「夢見る恋人たち」はいかがでしたか。

富良野のまちは「へそのまち」「スキーのまち」「ワインのまち」「北の国からのまち」、「ゴミ行政の先進地」…そして「演劇のまち」、この演劇のまちにはことぶき大学の演劇が加わって富良野は演劇のまちとして確立していくはずです。



演劇祭～発表会～大変お疲れ様でした。

「ドリーム (ゆめ)」ではハムレットに挑戦しました。ハムレットの名言の中で「…to be, or not to be, that is the question,…」to be(することが…)or not to be (そうならないか) that is the question(それが問題だ)…直訳するとこんな意味ですが、日本語訳ではなく、原作の英語で理解すべきなのかもしれません…

ハムレットを演じる今さんの「最後のセリフ…to be, or not to be, that is the question…まあ、考えてみるか！」…行くか行かないか今は言えないけど、自分に投げかけているという意味にも取れます…謎の多い、シェイクスピア最高傑作ハムレットに出演した皆さん、とても良かったです。



最後になりましたが、ことぶき大学の歴史から見ると、この発表大会の前身は昭和58年度の「ことぶき大学弁論大会」がはじまりでした。その後「ことぶき大学意見発表会」として平成11年度まで開催「ことぶき大学主張実践発表」として学校間交流と親睦を深める目的で行われてきました。今回の第2研究生の平澤稔さんの主張はことぶき大学において大変貴重な発表と言えます。

平澤さんがコロナ禍の中で2年連続して富良野校学生自治会の会長として休校が相次ぐ中集団行動が難しいため小さな集団つまり学年別での小集団活動を提案していただくこと

もに、こまめに役員会を開催するなど出来る範囲内でのコミュニケーションを大切にしてきたことを発表しました。こうした学生自治会役員の方々のお陰で、今のことぶき大学があるのです。

ことぶき大学開校 50 周年記念式典を終えた昨年、令和 5 年度は新しいことぶき大学をスタートさせる上でも 4 年ぶりに開催されたこの度の「ことぶき大学主張・研究・実践発表会」は大変意義深いと思っています。

職員の皆さん、裏方さんの大きな支えがあってこそです！！

そして、皆さん、良く頑張りました。次へステップアップ！！

本日、12月6日(水)の予定

後期学生自治会費 3,000 円、次回、12月20日(水)に集金します！！

いよいよことぶき大学も 12 月も残すところ 6 日と 20 日の 2 回となりました。取組が遅くなりましたが、後期の学生自治会費を徴収します。

12 月 20 日(水)は複合庁舎の文化会館サンエーホールにおいてクリスマスコンサートを開催しますが、その際に集金することになります。各学年で 6 日に休まれた方につきましては連絡をしてあげてください。

9 時 30 分 朝の集会

10 時 00 分 クラブ学習

12 時 00 分 昼食 休憩

13 時 00 分 講座のテーマ「富良野の自然と人間」

講師 生涯学習センター 学芸員 泉 団 さん

泉さんを紹介 … 植物の勉強を大学の頃からしていたとのことです。生涯学習センターでは自然の分野全体を担当しています。博物館は動物の剥製、昔の道具など展示のイメージが強いものですが、どんどん地域に出て、生き物のことを案内する観察会などを開き、子どもたちに自然の中で体験活動をさせたい。また、富良野は自然との距離が近く、特に、鳥沼公園では道路を挟んで反対側には湿地林がある…人間が入る前、150 年以上前の状態を残しているとても貴重な場所でもある。開拓時代、先人からいろいろと学ぶことができるはずで… ～ネットより抜粋しました。【ふらびズム people】～

千葉県出身。富良野に仕事に来る前は埼玉県に住む関東人。2012 年 4 月から富良野人！？

15 時 00 分 後片付け 下校

学生自治会 5 役会議 (会長・副会長・総務・書記・会計)

次回、12月20日（水）お楽しみクリスマスコンサート サンエーホール

《 後期学生自治会費納入日 》

もうすぐクリスマス、恒例になりました年末お楽しみクリスマスコンサートを開催します。午前中で終了するので、ランチはどこかで美味しいものを仲間と食べに行くのも良いですね。たくさん批評し合ってください。

ことぶき大学の専任音楽講師でもある鶴飼さん、そして藤野係長によるコンサートでも出演します。もっか練習中です。今度は私たち職員が心を込めて皆さんに贈ります。

- 9時30分 集合 サンエーホール 朝の集い（東山発8時45分）
- 9時40分 朝の集い
- 10時00分 開幕
- 12時00分 終了



ティータイムコーナー！

朝の最低気温が-18度以下という日がありましたが、あらためて太陽、自然のパワーに感動しています。我が家に今、ソーラーパネルのイルミネーションをつけました。

今までとは違い太陽光で発光しそして消える…日没の時間も計算されているようでとても賢いのです。妻はもっとももっとこのパネルを利用して何かできるはずだと意欲的です。

今夜は何時に点灯し何時に消灯するのかなど記録を取ったりしています…

仕事が終わりと、帰宅する頃は点灯・点滅しています。ソーラーパネルのイルミネーションは心を温かくしてくれます。

ネット時代、いろいろ調べることがあります。4年振りに発表交流会を開催しましたがコロナが完全に終息したわけではありません。加えてインフルエンザが急速に増加している現在…世界は平和ではなく、それぞれに主義主張し、思想信条の自由の中で混沌としています。何が平和か？と「平和」と調べると、「戦争は人類と同じくらい古いように見えるが、平和は現代の発明である」（ウィキペディア）という文言があった。平和とは戦争がないことを言っているらしい。「元来、戦争は宣戦布告に始まり平和（講和）条約をもって終了する。これにより平和が到来するとされてきた…（説明がずっと続く）」

平和とは現代の発明とは知らなかったです……

「コーヒーメーカーもソーラーパネルで、できない!？」と妻が ～「手動でお願いします」と私…